

令和八年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

中学校（国語）

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は三問七ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

中学校国語

一 次の文章を読んで、一～七の問いに答えよ。

※著作権法により、掲載を省略します。

※著作権法により、掲載を省略します。

永井玲衣『世界の適切な保存』より（作問の關係上、一部表記等を改めた。）

一 「^b反芻」、 「^d司る」の読み方をひらがなで記せ。

二 「^aショウゲキ」、 「^cカットウ」を漢字に直して記せ。(楷書で正確に書くこと)

三 「^①この書き方でなければならなかった必然性を感じる」とあるが、そのように考える理由として、最も適當なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、何度も眠ろうとしたが眠ることのできない苛立ちが、改行の軽快なリズムで表現されているから。

イ、何度も眠ろうとしたが眠ることのできない不甲斐なさが、改行の変なリズムで表現されているから。

ウ、何度も眠ろうとしたが眠ることのできない悲しみが、改行の規則的なリズムで表現されているから。

エ、何度も眠ろうとしたが眠ることのできない不安が、改行の不規則なリズムで表現されているから。

四 「^②新たなリズム」とあるが、どのように変化したか。その変化がわかるように文中の言葉を使って、五十五字以上六十字以内で記せ。

五 「^③沈黙の時間が重要だ」とあるが、そのように考える理由を、四十五字以上五十字以内で記せ。

六 本文で述べられている内容として、最も適當なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア、対話の場をひろくするためには、聞き手が話を遮ったとしても、話し手は自分が話し終わったと思うまでは話し続けることが、考えを深めるために大切である。

イ、詩は改行をつかい、変なリズムを生み出し、読み手の意識に働きかけるが、短歌は空白をつかって、軽快なリズムを生み出し、読み手の身体に働きかける。

ウ、哲学者の村上靖彦さんは、自分自身に問いを投げかけ続けることが、ものを考えることや自分が生きていくことの出発点に立つことになるかと述べている。

エ、詩や短歌での改行や空白、対話の場での沈黙は同じような効果があり、思考が一度とまるが、とまるという行為そのものが思考のはじまりとなる。

七 次は、中学校学習指導要領に示されている、国語科の指導計画の作成と内容の取扱いの一部である。 C にあてはまる言葉を記せ。 A、 B、

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 单元など A のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主體的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、 B を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや C 学習の充実を図ること。

二

次の文章を読んで、一～六の問いに答えよ。（*は注を表す。）

※著作権法により、掲載を省略します。

※著作権法により、掲載を省略します。

一 「^①展覧」の意味を記せ。

二 「^②信じ難い感覚で直文は立ち止まった」とあるが、このときの直文の心情を、四十五字以上五十字以内で記せ。

三 「^③その景色に直文は面喰らった」とあるが、その理由を四十字以上四十五字以内で説明せよ。

四 「^④意を決して」とあるが、このことを説明した文として、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で記せ。

ア、自分を信じて進んできた道は峠に帰ってしまったのではないかと不安になったが、留まったとしても誰かが助けに来てくれるはずだから、とにかく息を休めようと決意して。

イ、これまで自分が進んできた道は間違っていたのではないかと不安になったが、留まったとしても雪に埋まってしまうため、とにかく進むことが大切だと覚悟を決めて。

ウ、自分の経験を生かして、迷いながらも自分で進む道を決定してきたが、自分の判断はこれまでも誤っていなかったため、自分を信じて進むことが重要であると決断して。

エ、これまで不安を振り払うように何度転んでも立ち上がり進んできたが、このまま進んだとしても体力を失ってしまうため、やはり出発点に戻った方がよいと決心して。

五 「^⑤あたりの空気があたたかく、黄色みを帯びてゆくのが感じられた」とあるが、この表現から直文のどのような状況の変化がわかるか、「孤独」、「生活」という言葉を使って三十字以上三十五字以内で記せ。

六 あなたは、一学年の国語の授業で、次の【指導事項（C）読むこと 第一学年】のエを目標として、この文章を用い、「工夫された表現の効果について伝え合おう」という言語活動を設定し指導することとした。この言語活動を通して、生徒の学習状況を評価する際に、「Bと判断する状況」に該当する記述例を記せ。

【指導事項（C）読むこと 第一学年】

ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。

ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりにして、内容を解釈すること。

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。

三

次の文章を読んで、一～五の問いに答えよ。（*は注を表す。）

※著作権法により、掲載を省略します。

『宇治拾遺物語』（日本古典文学大系）より（作間の関係上、一部表記等を改めた。）

一 「^aたふとみて」、「^bこよひ」を音読する場合、その読み方をすべてひらがなで答えよ。

二 「^①いみじく」の品詞・活用形を記せ。

三 「^②いねもせずしておきゐたり」を現代語訳せよ。

四 「^③弓をつよく引きて、ひやうと射たりければ」とあるが、その理由を四十五字以上五十五字以内で記せ。

五 文中の（A）、（B）にあてはまる言葉を記せ。